

県政調査計画書

令和元年 10 月 2 日

県議会議長 梅沢 裕之 殿

会派名.....立憲民主党・民権クラブ神奈川県議会議員団

団長名.....てらさき 雄介



(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 岸部 都 (団 員) 市川 よし子 脇 礼子 野田 治美 佐々木 ナオミ 望月 聖子
2 調査目的	女性活躍推進の取組、女性のキャリアづくりの支援の取組、オーダーメイド型キャリア形成支援と女性研究者育成の取組、子育て交流施設の取組、地域包括ケア拠点施設の取組を調査することにより、本県における今後の施策展開の参考とする。
3 調査期間	令和元年11月12日 ～ 令和元年11月14日
4 調査地	福井県、富山県
5 調査項目	(1) 福井県庁 福井県は、「女性活躍推進課」を設置し、女性活躍支援ポータルサイト、「ふくい女性活躍推進企業」登録制度を設けるなど、女性活躍支援や、企業における女性活躍推進に取り組んでいる。 福井県の取組を調査することにより、本県の女性の社会参画推進の取組の参考とする。 (2) ふくい女性活躍支援センター ふくい女性活躍支援センターは、女性のキャリアづくりを支援し、仕事についての不安解消やキャリアアップの支援、子育てが一段落した女性の再就職や育児休業からの円滑な復帰などの支援をワ



女性のキャリア相談や、キャリアアップのための講座や交流会の実施等を調査することにより、本県の女性の就業支援の取組の参考とする。

(3) 富山大学

富山大学を中心とし、富山県、富山県女性財団、ハローワーク、産業界等が連携して、富山型地域連携モデルを構築し、女性の学び・キャリア形成支援を行っている。

また、国際型女性研究者育成プログラムを展開し、次世代女性研究者の層と質が充実する仕組みを構築することを目指している。

学びを通じた女性の社会参画の支援と実証事業、女性研究者の育成事業等を調査することにより、本県の女性の社会参画推進の取組の参考とする。

(4) 富山県庁

富山県は、「女性の活躍推進委員会」を設置し、仕事と家庭の両立支援や、女性のキャリアアップを推進している。

仕事と子育て両立支援企業の表彰、女性の就職や起業やキャリアアップの相談等女性活躍推進の事業を調査することにより、本県の女性の社会参画推進の取組の参考とする。

(5) とやまこどもプラザ

とやまこどもプラザは、こども図書館や子育て相談等の機能を有し、子供が心豊かに成長していくための読書を通じた学びや遊びによる交流・体験機会の提供や、子育て家庭の育児不安を解消するためのサポート等を行っている。

この施設の取組を調査することにより、本県の子育て支援の取組の参考とする。

(6) 富山市まちなか総合ケアセンター

富山市まちなか総合ケアセンターは、子育て支援や在宅医療、地域コミュニティの醸成等を推進するための事業を展開し、乳幼児から高齢者、障害者を含む、全ての地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進している。

高齢者、障がい者、児童などへのサービスを総合的に提供する取組を調査することにより、本県の子育て支援、地域医療推進の取組の参考とする。

6 経費の概算額	一人当たりの議員経費	74,840円
	内訳	交通費	41,480円
		宿泊費	33,000円
		日当	360円

* 日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
1	11月12日 (火)	福井県 福井市	午前 午後	公共交通機関等 公共交通機関等	<p>移動(新横浜駅→福井駅)</p> <p>■福井県庁 ・女性活躍推進の取組について</p> <p>■ふくい女性活躍支援センター ・女性のキャリアづくりの支援の取組について</p> <p style="text-align: right;"><福井市内泊></p>
2	11月13日 (水)	富山県 富山市	午前 午後	公共交通機関等 公共交通機関等	<p>■富山大学 ・オーダーメイド型キャリア形成支援と女性研究者育成の取組について</p> <p>■富山県庁 ・女性活躍推進の取組について</p> <p>■とやまこどもプラザ ・子育て交流施設の取組について</p> <p style="text-align: right;"><富山市内泊></p>
3	11月14日 (木)	富山県 富山市	午前 午後	公共交通機関等 公共交通機関等	<p>■富山市まちなか総合ケアセンター ・地域包括ケア拠点施設の取組について</p> <p>移動(富山駅→東京駅)</p>

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 岸部 都 (団員) 市川 よし子、脇 礼子、野田 治美、 佐々木ナオミ、望月 聖子
---------	--

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員 1 人当たり 100 万円以内	議員 1 人当たりの経費は 74,840 円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 箇所以上調査実施 移動日は 1 箇所以上調査実施	移動日は 1 箇所以上、その他の日は午前及び午後それぞれ 1 箇所ずつ調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<p>(1) 福井県庁 福井県は、女性の就業率が全国トップクラスであり、企業で働く女性や自営業の女性など、様々な女性が活躍できる環境づくりを推進している。 また、共働き率も全国トップクラスであり、男女が協力して家事を行う風土を醸成し、仕事と家庭の調和が取れた生活の実現を支援している。 女性の活躍やワークライフバランスを後押しする事業を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(2) ふくい女性活躍支援センター ふくい女性活躍支援センターは、平成19年に福井県により設置され、女性専用で職業紹介を行っており、専門相談員が女性の就職相談、キャリア相談、子育て相談に対応している。 ワンストップでのきめ細かい女性の就業支援を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(3) 富山大学 富山大学は、オーダーメイド型学び・キャリア形成支援のプラットフォームを確立するため、学びのコー</p>

区 分	所 見
<p>①調査の実施が県政課題解決の一助となるか。</p>	<p>ディネーターデスクを開設し、ワンストップでの学びのプラン作成から保育先情報提供までの案内をしており、平成30年度文部科学省「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」に採択されている。</p> <p>また、国際型女性研究者育成プログラムでは、ダイバーシティ研究環境実現を目指すため、シンポジウム、ワークショップの開催等を行っており、平成27年度文部科学省「科学技術人材育成費補助事業」に採択されている。</p> <p>これらの先進的な取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(4) 富山県庁 富山県は、経済団体等と連携し、女性活躍推進に向けた環境づくりや業種・職種の枠を超えたネットワーク構築を推進し、平成27年度内閣府「地域女性活躍推進交付金」に採択されている。</p> <p>「女性の活躍推進委員会」での議論に基づいた、女性が活躍しやすい環境づくりのための効果的な施策を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(5) とやまこどもプラザ とやまこどもプラザは、平成25年に富山市により設置され、こども図書館と子育て支援施設が一体となっている。駅前の施設であり利便性が高く、保育士や相談人が常駐し、子供を遊ばせながら、子育てに関する悩み事を相談することができる。このような住民のニーズに合った施設を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(6) 富山市まちなか総合ケアセンター 富山市まちなか総合ケアセンターは、平成29年に富山市により設置され、地域包括ケア拠点として、多世代に対応した施設であり、こども発達支援室、病児保育室を自治体が直営するのは全国で初めてとなる。子育て支援や医療連携など多様なサービスを提供する施設を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p>

区 分	所 見
<p>②調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<p>(1) 福井県庁、(2) ふくい女性活躍支援センター、 (3) 富山大学、(4) 富山県庁 本県では、「かながわ女性の活躍応援団」を設立するとともに、「かながわの女性応援サイト」を設け、女性のキャリアアップや、研究活動で役に立つ情報を提供している。また、これから働きはじめたい女性、再就職したい女性、転職したい女性のための就業支援サービスとして、キャリアカウンセリングやセミナー等を実施し、女性の職場定着率向上に取り組む企業・団体を応援している。</p> <p>福井県庁、ふくい女性活躍支援センター、富山大学、富山県庁の女性の社会参画推進、就業支援等の取組を調査することは、時宜を得ている。</p> <p>(5) とやまこどもプラザ 本県では、「かながわ子どもみらいプラン」の策定や、「神奈川県子ども・子育て会議」の設置により、県や市町村、企業、NPOや民間団体、県民が一丸となって、地域社会全体で子どもと子育て家庭を応援する取組を進めている。</p> <p>とやまこどもプラザの子育て支援の取組を調査することは、時宜を得ている。</p> <p>(6) 富山市まちなか総合ケアセンター 本県では、認定こども園の認定や子育て支援員の研修により保育環境の整備を進めるとともに、小児等在宅医療連携拠点事業による小児在宅医療を支える体制の構築、地域医療介護連携ネットワーク構築の検討会議の開催や、ガイドラインの策定などを行っている。</p> <p>富山市まちなか総合ケアセンターの子育て支援、地域医療推進などを総合的に提供する先進的な取組を調査することは、時宜を得ている。</p>
<p>③現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>各調査項目について、今後の本県における施策に活用していくためには、現地に赴き、担当職員等から具体的かつ詳細に調査及び聴取しなければ調査目的を達成することができないものである。</p>
<p>④調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は、県政調査実施要領の基準を満たし、妥当なものである。</p>